

平成22年5月7日

各 位

会 社 名 リバーエレクトック株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 若尾 富士男  
 (JASDAQ・コード番号: 6666)  
 問合せ先 取締役総務本部長 高保 譲治  
 TEL 0551-22-1211

### 特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）において、以下の特別損失が発生する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

#### 1. 特別損失の計上額

(百万円)

|                    | 連 結   | 個 別   |
|--------------------|-------|-------|
| (1) 固定資産除却損        | 55    | 51    |
| (2) 減損損失           | 2,620 | 1,627 |
| (3) 関係会社事業損失引当金繰入額 | —     | 1,227 |
| 合 計                | 2,676 | 2,906 |

#### 2. 特別損失の内容

##### (1) 固定資産除却損（連結・個別）

主に水晶製品に係る固定資産の廃滅等に伴い、連結にて55百万円、個別にて51百万円を固定資産除却損として特別損失に計上いたします。

##### (2) 減損損失（連結・個別）

当社グループが主力事業としている水晶製品事業において、経営環境の著しい悪化と平成22年3月期の業績を鑑み、今後長期間にわたる当該事業用固定資産の回収可能性を厳格に精査した結果、減損損失を計上することとなりました。また、海外で生産しているインダクタにつきましても、今後1年以内の生産終了を予定しており、これと合わせて当社及び当社の100%製造子会社である青森リバーテクノ株式会社及びRiver Electronics (Ipoh) Sdn. Bhd.（リバーエレクトロニクス イポー）が保有する当該事業用固定資産の帳簿価格から、連結にて2,620百万円、個別にて1,627百万円を減損損失として特別損失に計上いたします。

##### (3) 関係会社事業損失引当金繰入額（個別）

青森リバーテクノ株式会社は平成22年3月末時点において債務超過に陥っており、同社の今後の見通し等を勘案し、同社の損失に備えるため、個別にて債務超過相当分である1,227百万円を関係会社事業損失引当金繰入額として特別損失に計上いたします。

#### 3. 損益に与える影響

損益に与える影響については、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にご参照ください。

以 上